

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	5単位	必修
担当教員			
北村 光子・井上 美代子・宮元 預羽			
講義概要	介護実習Ⅰで得た知識・技術をもとに利用者の状況に応じた生活支援技術について実践を行う。 介護現場での実習を通して、利用者の生活全体を把握した上で利用者一人を担当し、アセスメントからモニタリングまで介護過程の実践を通して、個別介護の重要性を理解する		
授業計画	介護老人福祉施設実習 7日間（56時間） 《実習目的》 1. 介護老人福祉施設の特徴や役割を知る 2. 利用者の生活ニーズを捉え、生活支援のあり方を考え実践する 3. ICFに基づいたアセスメントができる		
授業形態	実習		
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①観察、コミュニケーション、記録類を通じて得た情報から優先度を考え、生活課題を明確にできる ②利用者、家族、他職種とのチームアプローチの必要性を理解し、介護計画の立案を行うことができる ③介護過程を展開する中で、専門的・計画的な介護サービスを提供する能力を身につける ④利用者の安全性、快適さ、自立に配慮した介護が実践できる ⑤介護目標が達成できたか、援助内容が適切であったか、計画を修正する必要があったか評価する力を身につける		
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新 介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習」中央法規出版 テキスト：長崎短期大学介護福祉実習マニュアル		
履修条件	6		
履修上の注意			
オフィスアワー	実習前後いつでも対応します。		
備考・メッセージ	実習前後の取り組みを大切にしてください。特に、報告・連絡・相談、を大切にしてください。誰に対しても誠実に接してください。		

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	2年	5単位	必修
担当教員			
北村 光子・井上 美代子・宮元 預羽			

講義概要	介護実習Ⅰで得た知識・技術をもとに利用者の状況に応じた生活支援技術について実践を行う。 介護現場での実習を通して、利用者の生活全体を把握した上で利用者一人を担当し、アセスメントからモニタリングまで介護過程の実践を通して、個別介護の重要性を理解する
授業計画	長期実習（施設実習） 23日間（184時間） 《実習目的》 利用者を総合的に捉え、個性性を踏まえた介護過程を展開することができる。
授業形態	実習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①観察、コミュニケーション、記録類を通じて得た情報から優先度を考え、生活課題を明確にできる ②利用者、家族、他職種とのチームアプローチの必要性を理解し、介護計画の立案を行うことができる ③介護過程を展開する中で、専門的・計画的な介護サービスを提供する能力を身につける ④利用者の安全性、快適さ、自立に配慮した介護が実践できる ⑤介護目標が達成できたか、援助内容が適切であったか、計画を修正する必要があったか評価する力を身につける
教科書・参考書	テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会「新 介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習」中央法規出版 テキスト：長崎短期大学介護福祉実習マニュアル
履修条件	6
履修上の注意	
オフィスアワー	実習の前後で対応します。
備考・メッセージ	実習前後の取り組みを大切にしてください。特に、報告・連絡・相談、を大切にしてください。誰に対しても誠実に接してください。